

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の  
点検及び評価報告書

中能登町教育委員会

## はじめに

この報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、中能登町教育委員会が平成30年度に実施した事務事業の取り組みについて自らその状況について点検し評価を行い、金沢大学 浅野秀重 名誉教授からご意見をいただき、まとめたものです。

令和2年2月

中能登町教育委員会

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

—目 次—

I 事務の点検評価

1 学校教育

(1) 確かな学力を育む教育の推進	1
(2) ふるさと学習の推進	3
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	4
(4) スポーツの振興	8
(5) 安全安心な学校づくり	8
(6) 特別支援教育の充実	10
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	11
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	14
(9) 中能登らしい学校教育の推進	14
(10) 夢プロジェクト事業	15
(11) ICT整備推進事業	15

2 学校施設・設備の整備充実

(1) 学校整備事業	16
------------	----

3 文化財

(1) 文化財保護事業	17
(2) 文化財管理運営事業	18

4 学校給食

(1) 学校給食	20
----------	----

5 生涯学習の振興

(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実	21
(2) 生涯学習講座の実施	22
(3) 生涯学習のつどいの実施	23
(4) 公民館活動の充実	24
(5) 青少年の健全育成	28
(6) 国際交流事業の推進	29
(7) 図書館の充実	31

6	生涯スポーツの振興	
(1)	ジュニアスポーツクラブの充実	34
(2)	地域スポーツの振興	35
(3)	スポーツ施設の整備・充実	36
(4)	指導者の養成と選手の育成	37
II	教育委員の主な活動	38
III	平成30年度決算（教育委員会）の概要	40
※	注釈	41

# 1. 教育のビジョン

## ○中能登町学校教育振興ビジョン

### 1. 基本理念

ふるさとに愛着と誇りをもち、将来を夢みて未来を切り拓く中能登っ子を育てる

### 2. 基本方針

- 1) 確かな学力と社会性を身につけ、大好きな自分づくりに励む中能登っ子
- 2) 生命を尊重し、正義感と思いやりの心を持つ人間性豊かな中能登っ子の育成
- 3) 心身ともに健康で、自分らしさを発揮し、たくましい行動の出来る中能登っ子の育成

## ○中能登町社会教育振興ビジョン

### 1. 基本理念

霊峰石動山と古墳つらなる眉丈山の麓まほろばの地に抱かれ、ふるさと愛を持ち、健康で心豊かな文化の香り高い町を目指す

### 2. 基本方針

少子高齢化が進行する中、家庭・学校・地域との連携を強化し、町の歴史や文化を継承しつつ、生涯学習・生涯スポーツなど、心豊かに生涯にわたり学び合える環境づくり、また、人間性豊かな、活力ある社会基盤づくりを推進する。

# I 事務の点検評価

## 1 学校教育

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(1) 確かな学力を育む教育の推進</p>	<p>○サポート校及び自主研究校における研究実践の推進</p> <p>① 学力向上プログラムサポート事業（中能登中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県学校指導課の西 和美マネジメントサポーターが、定期的にサポート校（中能登中学校）を訪問し、授業や生徒の生活態度等を観察し、指導・助言をして頂く。</li> <li>・町内4小中学校での学力向上連携協議会を定期的に開催し、各校の取組状況を報告し合い、西和美マネジメントサポーターから指導・助言をして頂く。</li> </ul> <p>② 理科教育設備整備費事業（鹿島小学校，鳥屋小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科アシスタントを活用し、観察・実験活動の充実を図る。</li> <li>・観察・実験活動の安全を図る。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登中学校では、管理職や各主任が客観的に取組状況を把握しながら、具体的な改善策を検討することができた。</li> <li>・町内4小中学校の取組状況を共有し合うことで、自校の指導改善に活かすことができた。</li> </ul> <p>・理科教育設備整備費事業については、鹿島小学校，鳥屋小学校の理科教材等の整備も含め、観察・実験活動に有効であった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上プログラムサポート事業は、平成30年度からの事業である。今後も町内4小中学校での学力向上連携協議会も継続して開催していきたい。各校のよい取組を他の学校にも広めていきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p><b>○小学校における外国語活動の充実及び中学校における姉妹提携校との相互交流による英語教育の拡充</b></p> <p>①ALT*<sup>1</sup> (外国語指導助手) の各小中学校への常時配置  鹿西小：ブリタニー 鳥屋小：ティラー  鹿島小：ウォルター 中能登中：コナー</p> <p>②町指定英語教育推進事業  中能登町外国語教育研修会  日時：平成31年1月23日(水)  場所：〔午前〕中能登中学校・〔午後〕鹿西小学校  講師：愛知県立大学 池田周准教授  内容：研究授業及び研修会  ・小中学校の外国語教育で育成する資質・能力  ・小学校「外国語活動」「外国語」の移行期間で目指したいこと  —新学習指導要領の理解と新教材の活用—</p> <p>③中能登中と台湾成功國民中との交流  日時：平成30年12月14日(金)  9：45～10：50  場所：中能登中学校 ランチルーム  内容：台湾成功國民中の創立記念日の交流  中学1年生台湾交流歌「水利の父」合唱</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ALT*<sup>1</sup>が常駐することで、児童・生徒のネイティブの英語に触れる機会が増し、外国語への慣れ親しみや学習効果を高めることができた。</li> <li>研修会では、外国語教育における小中連携の重要性や移行期に配慮すべきことへの理解が深まった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校において、外国語指導への不安感はあるが、英語専科教員の加配やICT*<sup>2</sup>の活用を図り、児童の英語力向上に反映させていく。</li> <li>小中合同研修会や出前授業などを計画的に実施し、教員の指導力や児童の興味関心の向上を図っていく。</li> <li>ALT*<sup>1</sup>が派遣契約となったことから、各学校の必要に応じ、有効性のある活用を図っていく。</li> </ul>
	<p><b>○学力調査の実施と活用</b></p> <p>1) 小学校における町テストの実施 (国語・算数)  第1回 8月31日 2年～6年生  第2回 1月11日 1年～6年生</p> <p>2) 中学校における英語力調査  ・GTEC*<sup>3</sup>での4技能調査実施  中学2・3年生全員対象  10月31日…話す  11月1日…聞く・読む・書く  ・英語検定の実施 年間3回  5月(2年全員)  10月(希望者)  1月(1年全, 希望者)  受験者数：延べ310名 合格者数：延べ267名</p> <p>2級1名 準2級2名 3級46名  4級28名 5級190名  (全校生徒数508名中)</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校では、町内一律のテストを継続していることで基礎的な力の定着を図ることができた。また、町内の平均と比較することで、自校の課題が明確となり指導改善に生かすことができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>GTEC*<sup>3</sup>調査結果の分析を進め、課題を明確にしながらか授業改善に生かしていく。</li> <li>個人の経年比較をとおし、伸びへの意欲を高めながら、受験者数及び合格者数の増加を図っていく。</li> <li>2020年度より小学校高学年の英語科が導入となることから、小学生の英検受験を働きかけていく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) ふるさと学習の推進	<p><b>○地域の豊かな自然や文化・歴史遺産等の良さを学ぶための教科の新設及び郷土愛高揚の促進</b></p> <p>①総合の時間で史跡, 雨の宮古墳群, 石動山や学校周辺の歴史文化遺産の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥屋小学校 5月～6月 校区環境調査 (6年) 5月25日 田植え体験 (5年) 10月16日 稲刈り体験 (5年)</li> <li>・鹿西小学校 9月26日 雨の宮グリーン広場 (全校) 5月15日 田植え体験 (5年) 9月20日 稲刈り体験 (5年) 10月15日 脱穀体験 (5年)</li> <li>・鹿島小学校 5月10日 田植え体験 (5年) 9月26日 稲刈り体験 (5年) 9月28日 サツマ任ほり体験 (2年) 10月20日 石動山森づくり (6年)</li> <li>・中能登中学校 4月26日 眉丈台 (3年) 古墳公園 (1年)</li> </ul> <p>②「中能登町子どもふるさと検定」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学5年生対象</li> <li>・実施日 11月14日</li> <li>・受験者 173名, 合格者数 149名</li> <li>・合格率 (86.1%)</li> </ul> <p>③社会科副読本の活用 (小学3,4年生対象)</p> <p>『わたしたちの中能登町』 『わたしたちの中能登町 資料編』 (文化財, 名所, 観光地等掲載)</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの豊かな自然の観察や歴史文化遺産の見学, ふるさと検定等を通して, 町のよさを再認識し, 愛着を育むことができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の合格率は90.0%に届かなかったが, 今後も高い合格率を維持するように努めていきたい。平成27年度に作成した社会科副読本を活用するとともに, 歴史文化遺産の見学や中能登町の産業等についても理解を促し, 郷土・故郷への愛着がより一層深められるように「ふるさと検定」を継続していきたい。</li> </ul>



項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p><b>○児童活動及び生徒会活動の重視</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登中学校～中能登中スタイル【学びの約束】4か条の啓発および定着～</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【学びの約束】4か条</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業のあいさつは、姿勢を正し元気よく。</li> <li>2 ベル学をする。(チャイムで授業開始)</li> <li>3 積極的に学び合いをする。</li> <li>4 学習環境を整える。</li> </ol> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会の日常活動、部活動紹介、生徒総会、学級紹介、校内陸上・球技大会、募金活動、全校レクリエーション、平和集会、学校祭、校内百人一首大会</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの力で自分たちの学校を作り上げていこうとする主体的な行動が見られるようになってきた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登中学校と小学校とが連携して、小学校児童会活動の活性化を図るため、交流を行っていきたい。</li> </ul>
	<p><b>○心に響く学校行事や各種体験活動・ボランティア活動への積極的な取り組み</b></p> <p>①平和集会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 8月6日</li> <li>・内容 紙で木の葉をつくり全校生徒に配付し、一人一人が平和へのメッセージを葉に書いた。全校生徒のメッセージを書いた葉で大きな木を作成した。</li> </ul> <p>③ わく・ワーク職場体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 6月27日～29日</li> <li>・参加者 中能登中学校 2年生 179名</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争や平和に対する関心や理解を深め、平和な未来を築くために、今すべきことを考えることができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な活動であり、今後も継続していく。</li> </ul>
	<p><b>○いじめ、非行、不登校へのきめ細やかな指導及び携帯電話やスマートフォン等の使用への適切な対応</b></p> <p>①非行・被害防止講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットトラブルやいじめ、盗み等、児童生徒の身の回りにありがちな事例から、現状及び未然防止の方法について保護者・児童生徒・教職員を対象に実施した。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鹿西小学校 2月15日 ネットによる被害防止</li> <li>2) 鳥屋小学校 2月27日 情報モラル教室</li> <li>3) 鹿島小学校 2月27日 不審者対応</li> <li>4) 中能登中学校 6月22日 非行・被害の未然防止</li> </ol> <p>②薬物乱用防止教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師や保健師等から、薬物・喫煙・アルコール飲酒が心身に及ぼす被害について、科学的根拠に基づいた講義を受けた。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鹿西小学校 12月12日 学校薬剤師</li> <li>2) 鳥屋小学校 11月6日 保健所職員</li> <li>3) 鹿島小学校 12月6日 保健所職員</li> <li>4) 中能登中学校 5月14日 学校薬剤師</li> </ol>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非行・被害防止講座では、指導主事や警察署の生活安全課職員より、各学校の必要に応じた講座が実施された。テーマ別懇談会や紙芝居を基にした意見交換など、参加者の積極的な姿勢が見てとれ好評だった。</li> <li>・講師がパワーポイントや映像等の視聴覚機器を使って、薬物などの危険性や依存性について分かりやすく説明し、児童生徒もよく理解できた。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>③いじめ問題への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対応アドバイザー派遣事業を積極的に活用し、小学校に派遣した。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鹿西小学校 12月6日</li> <li>2) 鳥屋小学校 7月30日</li> <li>3) 鹿島小学校 8月20日</li> <li>4) 中能登中学校 7月24日</li> </ol> </li> <li>・「いじめを見逃さない学校づくり推進事業」では、いじめ問題対策チーム、個別案件対応班、児童会・生徒会の自主的活動、いじめアンケート調査、教育相談体制の整備などの取組を行った。</li> <li>・平成26年9月19日に中能登町いじめ問題対策連絡協議会条例及び中能登町いじめ防止基本方針を制定</li> <li>・中能登町いじめ問題対策連絡協議会 平成31年 2月22日</li> </ul> <p>④ 非行（暴力）の防止と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に関係機関と連携し、多様化する非行の現状を踏まえ犯罪被害の防止と健全育成対策を進める。</li> </ul> <p>⑤不登校児童生徒への対策と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校傾向の状況を日頃の児童生徒の観察を通して把握し、早期に適切な対応が取れるようにした。</li> <li>・カウンセラー派遣事業や個別指導、別室指導を実施している。</li> </ul> <p>⑥ネットの諸問題への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット被害防止 指導資料（CD）、資料「親子のホッとネット大作戦」等を活用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対応アドバイザー派遣事業では、各学校の児童生徒の実態に応じた事案内容で実施し、いじめの早期発見や教師の未然防止意識の向上につながった。</li> <li>・また、「いじめを見逃さない学校づくり推進事業」では、いろいろな立場や場面からいじめを発見し、迅速な対応ができています。いじめ事案について管理職を中心に学校全体で取り組む体制ができてきています。</li> <li>・いじめ問題対策連絡協議会を1回開催した。生徒指導担当者からの事例に対し、法務局や児童相談所各関係機関からの指導を受けた。問題を共有することで、具体的に対応を図ることができた。</li> <li>・関係機関と連携した非行防止に努めた。生徒指導は落ち着いてきた。</li> <li>・不登校者数は小中併せて19名で、一人ひとりに応じた支援を継続していく。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ、非行、不登校対策については継続して事業を実施していく。学校だけでは解決が困難なケースではSSW<sup>※4</sup>を活用し、対応していく。</li> <li>・携帯電話やスマートフォンなど情報機器等の児童生徒の利用については、家庭と連携した「なかのとネットマナー」に取り組んでいく。また、ネット被害予防のための研修会、勉強会の場をもつよう努めたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p><b>○石川県教育委員会指定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いしかわ道德教育推進事業</li> <li>・鹿島小学校公開授業研究会</li> </ul> <p>1) 研究主題 主体的に考え、学び合い、深める児童の育成 ～多面的・多角的に考えるための指導の工夫～</p> <p>2) 実施日 10月3日</p> <p>3) 場 所 鹿島小学校</p> <p>4) 内 容 研究概要説明、授業、分科会、 全体会、講演会</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ごとに研究主題のテーマに迫るように研究を進め、取組の成果を発表する場として研究発表会を実施し、定期的に取り組の検証を行ってきた。道德教育の推進や児童生徒の良好な人間関係づくりに取り組むことができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いしかわ道德教育推進事業については、中能登中学校が取り組む予定である。「特別の教科」道德の推進校としての役割を担うよう引き続き実施していきたい。</li> </ul>
	<p><b>○中能登町教育委員会指定</b></p> <p>①外国語教育実践推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥屋小学校公開授業研究会</li> </ul> <p>1) 研究主題 関わり合い、学びを深め合う児童をめざして ～コミュニケーションの充実を～</p> <p>2) 実施日 10月12日</p> <p>3) 場 所 鳥屋小学校</p> <p>4) 内 容 公開授業Ⅰ・Ⅱ、全体会、分科会</p> <p>②学力向上実践推進事業</p> <p>1) 研究主題 『学習と自分を結び、共に学び合いながら学習を深めていく生徒の育成』 ～学力向上ロードマップの活用を通して～</p> <p>2) 実施日 2月13日</p> <p>3) 場 所 中能登中学校</p> <p>4) 内 容 公開授業(英語・数学・道德)、全体会</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業等をとおして、効果的なALTや電子黒板等の活用方法について共通理解を図ることができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度から新学習指導要領の全面実施に向けて、外国語科及び外国語活動の時数増と指導内容の質の向上を図っていきたい。</li> </ul>
	<p><b>○キャリア教育の推進</b></p> <p>①土曜授業「中能登しごと館」</p> <p>1) 実施日 11月11日</p> <p>2) 場 所 中能登中学校</p> <p>3) 受講者 中学1～3年生(506人)</p> <p>4) 内 容 保護者・地域の方々(約50名)が、37のブースを設けて各職種についての説明や体験活動を行う。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登中学校PTAの牽引により、地域の方々を巻き込んだ「中能登しごと館」を開催することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中能登しごと館」を今後も継続して開催し、キャリア教育を推進するとともに生徒の学ぶ意欲の向上を図っていく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実</p>	<p><b>○中能登町子ども議会の開催（第2回）</b></p> <p>1)開催目的</p> <p>1. 将来の中能登町を担う子どもたちが、自分の町の姿をよく見つめ、快適で住みよいまちづくりのため、町に対する自分の夢や希望を提言することにより、子どもの町政への関心を高めることができるようにする。</p> <p>2. 行政や議会の仕組みを学ぶことをとおし、政治を身近に感じるとともに、まちづくりに進んで参画しようとする意欲を高めることができるようにする。</p> <p>2)開催日 平成30年12月10日（月） 13時30分から15時30分</p> <p>3)場 所 中能登町議会本会議場 大会議室 福祉センター第2研修室</p> <p>4)参加者 中能登町立小学校6年生 鳥屋小学校（2クラス） 鹿島小学校（2クラス） 鹿西小学校（1クラス） （こども議長1名 こども議員14名）</p> <p>5)内 容</p> <p>常任委員会と本会議を同時開催し、町内小学校の6年生がクラスごとに、本会議、常任委員会を巡回し、小学生全員が議場及び委員会の体験をする。</p> <p>[委員会] 教育民生常任委員会（福祉センター第2研修室 委員6名と児童1クラス）、総務建設常任委員会（大会議室 委員6名と児童1クラス）に分かれ、常任委員会を開催する。</p> <p>議会の仕組み及び委員会の役割の説明のあと、子どもたちからの議会の仕組みや議員の役割についての質問をおし、子どもたちと議員との交流を行う。</p> <p>〈参加者〉各常任委員会の議員、議会事務局、教育委員会事務局</p> <p>[議場] 本会議場で児童は議員席と傍聴席に分かれ、町執行部席には町長、副町長、教育長、課長が着座し、現在頑張っていることや町に対する夢や希望をクラスの代表者が発表し、町長及び教育長が回答するという方法で行う。</p> <p>各クラス代表14名一般質問</p> <p>〈参加者〉議 場 〈小学生〉各クラス代表14名（議長席1、質問席1、議席12） 〈町執行部〉町長、副町長、教育長、課長 傍聴席 議会議員、教育委員、小学生児童</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>・昨年に引き続きこども議会の開催をした。</p> <p>議場では、児童の現在頑張っていることや、町に対する夢や希望をクラスの代表者が発表し、提案型の一般質問となった。</p> <p>常任委員会では、小学生と議員との交流があった。</p> <p>町立3小学校の6年生全員が貴重な体験をすることができた。</p> <p>また、役場執行部や議会にとっても意識改革につながったものと思われる。</p> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <p>今後も継続し開催し、町政への関心とまちづくりに進んで参画する意欲を高めていく。</p> <p>今年度は、小学生が対象であったが、今後また、どのように継続していくか検討していきたい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) スポーツの振興	<p><b>○活動費の助成や大会派遣への支援体制の強化</b></p> <p>①中学校体育連盟が主催する大会（10割補助）、これに準ずる大会も（10割補助）に、派遣費補助を実施した。</p> <p>②石川県大会は参加費等及び交通費の補助を実施</p> <p>③小学生のスポーツ活動では、石川県小学生陸上競技大会、鹿島郡小学生陸上競技大会、いしかわっ子駅伝交流大会などの参加費等補助を実施した。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校では運動部活動指導の工夫改善支援事業を積極的に取り入れ、町独自のコーチ派遣事業と合わせ、スポーツの振興に取り組んだ。全国大会に参加した種目は、弓道女子団体、ソフトテニス男子団体、柔道男子個人、女子団体と個人だった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度から、準ずる大会も10割補助となり、また、練習試合や中体連以外の大会や錬成会、練習試合等へも5割補助やスクールバスの空き時間を活用するなど、今後も継続して支援をしていきたい。</li> </ul>
(5) 安全安心な学校づくり	<p><b>○交通安全意識の高揚と実践</b></p> <p>①ヘルメット助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校入学時に新1年生申請者にヘルメット購入費の全額を補助（助成生徒数128人）</li> </ul> <p>②通学路の緊急合同点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校では通学路の安全点検や、児童に対して通学体験などを指導。「中能登町通学路安全プログラム」（町ホームページを参照）に基づき公表した。</li> </ul> <p>③見守り隊などボランティア活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭指導、児童の登下校の見守り、校区内の夜間巡視など、各小学校PTAと連携をとり通学の恒常的な安全確保に努めた</li> </ul> <p>④交通安全教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校で年度初めに七尾警察署安全課職員及び地元駐在所所長を講師に交通安全教室を実施した。とくに小学校は低学年と高学年に分けて実施。</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校では区域に関係なく自転車通学を認めているため、従来から入学時、新1年生申請者にヘルメットを配布、また交通安全教室を開催するなどして交通事故防止に取り組んだ。</li> <li>・小学校では、関係機関と連携し通学路の安全点検を実施し危険個所の改善に取り組んだ。</li> <li>・「中能登町通学路安全プログラム」が策定されたことにより関係機関との連携も確立され危険個所改善が早くなった。</li> <li>・新学期、最初の全校集会等で見守り隊などボランティアとの対面式や学年末の全校集会等で交流を図るなど、児童たちに見守り隊の存在を知ってもらうことができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、危険個所の改善、交通安全教室を実施するなど、今後も事業を継続していく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 安全安心な学校づくり	<p><b>○地震や洪水など天災発生時の避難誘導</b></p> <p>①教頭会での避難対策打合せ実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校で年度初めに計画された防災計画に基づいて、年間2回から3回程度の避難訓練を実施</li> </ul> <p>②実践的防災教育の実施と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿島小学校           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 4年PTCA*5 6月30日 「家族でしっかり考えよう！(防災のこと)」講演会、新聞紙でスリッパづくり</li> </ol> </li> <li>・中能登中学校で「防災体験学習ユニット」を実施(広域斜面危険度判定システム研究会、石川県土木部砂防課、中能登土木総合事務所)           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 基本学習 ドローン体験</li> <li>2) 体験学習-1 扇状地・砂防施設の調査(空撮)</li> <li>3) 体験学習-2 道の駅調査、集中豪雨体験</li> <li>4) ハザードマップ作り</li> <li>5) 行政との意見交換</li> </ol> </li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校防災アドバイザーの指導助言から、避難訓練が実のある情報提供や定期的に振り返り、考える機会となるよう検証と改善を繰り返す必要性を確認できた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災力・生きる力をもった次世代の育成の視点から、防災教育に取り組んでいく。</li> <li>・児童引き渡しの基準や具体的手順の確立、放送に頼らない訓練方法等も検討していく。</li> </ul>
	<p><b>○火災や原発事故などへの適切な対応</b></p> <p>①避難訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施必須化に伴い、各学校において年間2回から3回程度の学校独自の訓練を実施した。</li> <li>・Jアラート*6訓練やシェイクアウトいしかわ等、県・町防災訓練等にも積極的に参加した。</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校で継続して避難訓練を実施することができた。また、危機管理マニュアルの見直しを行った。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町は、災害が比較的、少ないため、防災意識が低い傾向にある。津波についても、将来的には知識や判断が必要となってくる。防災教育を工夫しながら継続して、避難訓練を実践していく必要がある。</li> </ul>
	<p><b>○防犯教室の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小中学校において1回から2回実施した。</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯教室では不審者を想定した避難訓練及び防犯の講話などを実施した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に不審者等に出会ったときに身を守れるよう、また、未然防止できるよう今後も継続して実施する。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 特別支援教育の充実	<p><b>○未就学児及び在学児童生徒の相談などの実施</b></p> <p>①県教育相談 6月14日</p> <p>②県就学相談 10月19日</p> <p>③町就学相談 8月21日 10月26日</p> <p>④教育支援委員会 12月3日 未就学児, 在籍児童及び生徒</p> <p>⑤各小中学校において専門相談の実施</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談や就学相談を実施することができ、保護者の方の相談に対応することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に相談できる場であることを周知し、今後も相談会の開催を継続していきたい。</li> </ul>
	<p><b>○特別支援学級の充実</b></p> <p>①各小中学校に支援員配置</p> <p>②特別支援教育研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 4月13日</li> <li>・場 所 各小中学校</li> <li>・対象者 支援員 特別支援教育研修会</li> <li>・実施日 6月1日, 12日, 7月5日</li> <li>・場 所 各小中学校</li> <li>・対象者 支援員 特別支援教育研修会</li> <li>・実施日 8月7日</li> <li>・場 所 ラピア鹿島 研修室</li> <li>・対象者 町立小中学校教職員 教育講演会</li> <li>・実施日 12月26日</li> <li>・場 所 ラピア鹿島 アイリスホール</li> <li>・対象者 町立小中学校教職員, 支援員他</li> </ul> <p>③保育園訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間3回～4回 町内保育園を訪問</li> <li>・夏休み期間等, 町内保育園を小学校教諭と訪問</li> </ul> <p>④年中児訪問</p> <p>1月から2月にかけて, 町内保育園を訪問</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員を配置することで、個々に応じた支援が行われた。</li> <li>・支援員を対象に研修会を開催した。</li> <li>・小中学校教職員を対象に、特別支援教育に関する研修会を開催した。</li> <li>・保育園訪問を通して、スムーズな小学校児童の受入れができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園, 小中学校の連携を今後も継続していきたい。</li> <li>・平成27年度から, 保健センターを中心に年中児訪問を実施している。</li> <li>・小中学校の教諭を対象に、特別支援についての研修会を継続していきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	<p><b>○教育委員会の学校訪問</b></p> <p>1. 実施日</p> <p>6月 1日 鹿島小学校 6月 6日 中能登中学校 6月13日 鳥屋小学校 7月 4日 鹿西小学校</p> <p>2. 内容</p> <p>(1)授業づくり</p> <p>①「目標・ねらい」の明確な工夫について ②「まとめ・振り返り」の工夫について</p> <p>(2)ICT*2の活用 (3)支援員との連携</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>・計画訪問Aに合わせて、各小中学校の現状を把握することができた。</p> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <p>・計画訪問はA・B・Cあり、各校年間3回、指導主事の訪問を受けている。計画訪問にあわせて委員会が各校を複数回訪問することで、具体的な支援策の検討・提案が可能となる。今後も継続していきたいと考えている。</p>
	<p><b>○教育委員による視察</b></p> <p>・実施日 平成30年11月30日～12月1日 教育長，教育委員（4名），事務局（4名）</p> <p>(1)愛知県岡崎市立竜海中学校視察 ※Global Communication Time 授業参観</p> <p>(2)愛知県名古屋市重要伝統的建造物群保存地区 (3)有松・鳴海校会館</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>・岡崎市立竜海中学校では、英語教育の取組について意見交換できた。</p> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <p>・小学校と中学校との連携を密にし、小学校の外国語活動・外国語科から中学校の英語科へ、子どもたちがスムーズに学習に取り組めるように配慮していきたい。</p>



項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組</p>	<p><b>○教育委員会連合会研修参加</b></p> <p>①定期総会講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 5月15日</li> <li>・基調講演 「地方から義務教育を動かす」</li> <li>・講師 全国中核市教育長会会長 岐阜市教育長 早川 三根夫 氏</li> </ul> <p>②教育委員会セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 8月3日</li> <li>・演題 「金沢と芭蕉」 ～芭蕉が歩いた金沢に於ける十日間～</li> <li>・講師 文芸評論家・俳文学会員 石川県観光パシカゴイト 山根 公 氏</li> </ul> <p>③研究大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 10月17日</li> <li>・基調講演「本県教育の課題とその対応について」</li> <li>・講師 石川県教育委員会教育次長 升屋 和夫 氏</li> </ul> <p><b>○その他研修参加</b></p> <p>①中能登町,七尾市教職員と合同講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成30年10月29日</li> <li>・演題 「本県教育の課題とその対応について」</li> <li>・講師 石川県教育委員会 教育長 田中 新太郎 氏</li> </ul> <p><b>○姉妹都市「紀宝町」学校教職員との交流</b></p> <p>紀宝町からの視察訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 11月5日 紀宝町(16名)</li> <li>・鹿島小学校学校訪問</li> </ul> <p>※習熟度別少人数授業(5年・算数科)参観 ※中能登町の教育実践や教育設備等についての情報交換</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各講演会,セミナーを通して教養を高めた。</li> <li>また,田中新太郎教育長には,中能登町,七尾市教職員の合同研修会において,学校経営の取組について講演していただいた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教委連の研修,セミナーについては今後とも参加し,教育委員の研修を実施したい。また,教育委員会主催の講演会等も実施し,見識を広めていきたい。</li> </ul> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両町の学校教育の方針,内容等について理解を深めた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は両町の先生方,児童,生徒との交流を更に深めていきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取り組み</p>	<p><b>○保小連携推進事業</b></p> <p>①保小連携推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 5月22日(火) 保小連携のねらいの共通理解 アプローチ・スタートカリキュラムの実施状況</li> <li>・第2回 8月7日(火) 保小相互交流の振り返り</li> <li>・第3回 2月5日(火) 次年度の保小連携の重点(継続・改善)</li> </ul> <p>②保小連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期…1年生の授業参観と情報交換</li> <li>・夏季休業中…年長児の保育参観と情報交換</li> <li>・3学期…次年度入学園児の情報交換 新1年生の学級編成に向けて</li> </ul> <p>③研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保小連携推進研修会 8月30日(木) 講師：金沢大学教授 松本謙一氏 「子どもの発達や学びをつなぐ」</li> <li>・保育園職員研修会 1月5日(土) 講師：(株)ゆう地域支援事業園 町村順子氏 「幼児期の発達の理解と専門職としての支援」</li> </ul> <p>④行事参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会(かざぐるま取り)</li> <li>・年長児授業体験</li> <li>・年長児ようこそ集会(新1年生を迎える会)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム作成と実施, 相互訪問, 合同研修会等を通し, 保小の連携意識が高まった。</li> <li>・年長児授業体験では, 小学校の授業スタイルを経験することで, 園児の学校生活への期待感や学習への意欲向上につながった。</li> <li>・保小連絡会で行う参観後の情報交換は, 子どもやその保護者の理解につながり, 保育や指導上の重要な示唆となった。</li> <li>・大学講師による講演では, 子どもの発達を踏まえた接続の在り方について専門的な示唆を受けることができ, 連携推進の参考となった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度替わりの担当者変更により, 連携意識もリセットされる傾向があることから, 組織体制を見直し, 引き継ぎの確実性を高めていく。</li> <li>・保小, 小小交流を継続し, 連携のねらいを共有しながら, 有効性, 必要性のある取組みを推進していく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	<p>○学校行事や学校生活についての情報公開, 行事等の地域住民への参加呼びかけ</p> <p>①ケーブルテレビ (なかのとチャンネル) 放送</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こども通信</li> <li>各小中学校の取組等を紹介</li> <li>・ なかのとスペシャル</li> </ul> <p>②広報掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月発行の町広報に掲載</li> <li>・ ホームページ掲載</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校行事や授業, 活動などの取り組みについてケーブルテレビで番組枠を設けて放送した。広報, ホームページなどを利用し, 保護者だけでなく地域住民への情報提供を行うことができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工夫しながら, 継続して情報発信に努める必要がある。</li> </ul>
	(9) 中能登らしい学校教育の推進	<p>○区域外通学の弾力的運用</p> <p>①中能登町立学校通学区域規則の一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 24 年度施行</li> </ul> <p>②中能登中学校への区域外就学生徒数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 年生 5 人, 2 年生 12 人, 3 年生 6 人</li> </ul>
<p>○環境教育の充実</p> <p>①児童環境学習活動キックオフミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施日 5 月 13 日</li> <li>・ 参加者 鹿島小学校, 烏屋小学校, 鹿西小学校 6 年生 合計 6 名参加</li> </ul>		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童環境学習発表会も 10 回目の開催となり, 児童の環境活動への取組が定着し, 地域を巻き込んだ活動ができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境を学ぶ学習姿勢は, 今後も重要と考えられ, 継続して児童に環境を守ることの姿勢を学ばせたい。また, 環境を通して, 生命の尊厳を教えていく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(10) 夢プロジェクト事業	<p><b>○夢プロジェクト活動事業</b></p> <p>①準備会議（1回）、実行委員会（2回）、推進会議（4回）を開催し、事業推進の為に組織や活動についての意見交換、活動計画の提案、活動事業を承認し実施した。</p> <p>②取組の重点（3本柱）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校：学習、ふれあい、運動</li> <li>・中学校：勉強（学力向上）、生徒会活動、部活動</li> </ul> <p>③長期展望（3期にわたる取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第Ⅰ期 開校を飾る（助走）</li> <li>・第Ⅱ期 一気に急上昇（ハイジャンプ）</li> <li>・第Ⅲ期 県下に名高い中学校（充実発展）</li> </ul> <p>④推進組織（専門部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい部会、学力向上部会、部活動運動部会、生徒会部会、PTA部会、生活指導部会</li> </ul> <p>※各専門部会ごとに活動計画を立案し年間計画を立て、夢プロジェクト構想達成のために実践活動を推進する。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢プロジェクト第Ⅲ期2年目、総まとめの3年間にに向けて、活動も充実し、学校・家庭・教育委員会・体育協会等が一体となって取り組んだ。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度からの3年間は、総仕上げとなる第Ⅲ期となるため、町内全小中学校の充実発展と、併せて「教育の町 中能登」を具現化するよう取りまとめていく。</li> </ul>
(11) ICT整備推進事業	<p><b>○学校 ICT※<sup>2</sup>機器整備事業</b></p> <p>①統合教育基盤整備及びネットワーク分離業務 40,932,000円</p> <p>②中学校生徒用デスクトップパソコン 41台更新</p> <p>③中学校教師用ノートパソコン 60台更新</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><b>○ICT※<sup>2</sup>活用推進事業</b></p> <p>①校務支援ソフトコミュニケーションツール導入</p> <p>②ICT活用教育支援ソフトウェア導入（SKYMENU）</p> <p>③小学校教材ソフトウェア導入（キューブきっず）</p> <p>⑤小中学校 ICT※<sup>2</sup>支援員配置（月2日）</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校に配置していた校務系サーバーを統合教育基盤に集約し、一元管理を行うことにより、情報漏洩リスク、運用負担の軽減が図られた。校務系、生徒系のネットワーク分離により、インターネット接続環境の強化につながった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板の更新を平成30年度から予定していたが、財政状況厳しい折、令和2年度以降に先延ばしとなった。</li> </ul>

## 2 学校施設・設備の整備充実

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 学校整備事業	<p>○事業の概要</p> <p>1. 鳥屋小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事名 平成30年度鳥屋小学校 防犯カメラ設置工事</li> <li>・場 所 中能登町末坂ナ部7番地</li> <li>・工 期 8月14日～9月28日</li> <li>・工事費 2,689,200円</li> <li>・内 容</li> <li>(1) 防水暗視カメラ 14台 40インチテレビモニター 1台 テレビインターホン 1台</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥屋小学校及び鹿西小学校の防犯カメラ設置工事が完了、職員玄関のオートロック工事も完了し、安全安心な学校設備が充実した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての小中学校に防犯カメラ設置、職員玄関のオートロックも設置されたので、安全安心な学校設備整備を継続していきたい。</li> </ul>
	<p>2. 鹿西小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事名 平成30年度鹿西小学校 防犯カメラ設置工事</li> <li>・場 所 中能登町能登部下110部20番地</li> <li>・工 期 8月14日～9月28日</li> <li>・工事費 1,998,000円</li> <li>・内 容</li> <li>(1) 防水暗視カメラ 10台 40インチテレビモニター 1台 テレビインターホン 1台</li> </ul>	

### 3 文化財

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 文化財保護事業	<p><b>○伝統的建造物群保存対策事業</b></p> <p>①伝統的建造物群保存対策調査委員会の設立及び開催 (4月23日設立, 10月16日, 3月18日)</p> <p>②各部会の開催</p> <p>○建築部会 伝統的建造物群保存対象家屋 25 件を調査した。社寺を 10 件調査した。</p> <p>○町づくり部会 部会を 4 回開催。現地調査をのべ 8 回実施</p> <p>○歴史考証部会 部会及び調査を 7 回開催, 実施。</p> <p>③能登部上, 徳丸, 能登部下地区を対象に, 伝建調査委員会町並み部会がワークショップを開催した。(11月25日)</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けて, 調査委員会の設立及び委員会を開催した。また, 各部会もそれぞれ開催した。対象区民の理解を得るために, ワークショップを開催し, 理解を深めた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保存対策調査報告書の刊行にむけ, 各部会で原稿を作成するとともに, 調査委員会で全体校正の調整を図る。</li> </ul>
	<p><b>○史跡石動山保存整備事業</b></p> <p>宝池院跡実測図をデジタル化した。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査報告書の刊行の基礎資料として遺構図のデジタル化を実施。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>報告書作成に向けて基礎整理を引き続き実施する。</li> </ul>
	<p><b>○高島カタダ・スギモト遺跡発掘調査</b></p> <p>民間の開発行為により, 埋蔵文化財の影響を及ぼす箇所において, 発掘調査を実施した。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古墳時代から平安時代の集落跡を検出した。建物跡や井戸跡等, 土師器 5 千点, 須恵器 5 0 点, 珠洲焼 1 0 点等が出土した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高島カタダ・スギモト遺跡の発掘調査報告書を刊行する。</li> </ul>
	<p><b>○指定・登録文化財の保護</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護審議会の開催 (1 回)</li> <li>指定文化財の保存管理状況の調査 (2 回)</li> <li>指定文化財の状況</li> <li>指定・登録文化財 119 件 (うち国指定 5 件, 県指定 6 件, 町指定 104 件, 国登録 5 件)</li> <li>新規登録文化財 (国重要無形民俗文化財) 鶴様道中の宿保存会</li> <li>指定文化財の維持管理助成 (40 件)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護審議会を開催し, 指導及び助言を得た。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定や登録されるべき文化財の調査研究を進め, 文化財の保存と活用が適切に図られるよう努めたい</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p style="text-align: center;">(1) 文化財保護事業</p>	<p><b>○指定文化財の説明板設置事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町指定建造物滝尾「日輪舎」(井田地内)の説明板設置</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内外から多くの方々が訪れていることから、経年劣化した説明板を新設した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は、指定文化財の最後の説明板の設置を予定している。</li> </ul>
	<p><b>○埋蔵文化財の保護</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発事業との調整協議 (5件)</li> <li>・試掘調査,立会い調査 (1件)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発事業との調整が図られるようになり、大規模な開発に対しては、試掘調査を実施した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の保護措置を適切に実施していく。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">(2) 文化財管理運営事業</p>	<p><b>○史跡・文化財施設の管理状況</b></p> <p>①石動山</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡公園, 県営能登歴史公園 (石動山地区) の施設維持管理, 樹木管理, 除草作業等の実施</li> <li>・大宮坊の管理運営 (利用者数 2,032 人)</li> <li>・石動山資料館の管理運営 (入館者数 768 人)</li> </ul> <p>②雨の宮古墳群</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古墳公園, グリーン広場の樹木管理及び除草作業</li> <li>・雨の宮能登王墓の館の管理運営 (入館者数 2,530 人)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の保護を図りながら定期的に除草, 樹木管理, 公園施設の維持管理を行なった。また学校教育, 社会教育の場として活用することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに史跡の普及・啓発に努めるとともに、展示施設の利用者増加を図るため、特別展を実施するほか、外部団体とも協力していく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 文化財管理運営事業	<p><b>○文化財の活用事業</b></p> <p>①史跡を訪ねる集い（いするぎウォーク） 開催日 5月3日 参加人数 54人</p> <p>②雨の宮古墳まつり（勾玉づくり体験） 開催日 10月13日 参加人数 120人</p> <p>③石動山歴史文化講座 開催日 12月15日 参加人数 20人 講師・演題 小林 忠雄氏 「山岳宗教にみる都市文化 ー石動山の民俗ー」</p> <p>④出前講座（郷土学習の支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化を知ろう「中能登町の文化財について」 (7件)</li> <li>・学校・団体等見学（10件）</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、講座等を通して文化財に対する理解が深まったと考えている。出前講座については、年々定着が図られてきている。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に事業を実施し、広く文化財に対する理解を深め、愛護の精神やふるさとに愛着を持っていただけるよう引き続き実施していく。</li> </ul>



#### 4 学校給食

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																		
(1) 学校給食	<p><b>○中能登町学校給食センター運営委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食センター運営委員会開催</li> <li>1) 実施日 2月25日</li> <li>2) 場 所 中能登町学校給食センター2階会議室</li> <li>3) 委 員 教育長, 学校長, PTA 会長, 学校薬剤師</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食の大切さを再認識することができた。</li> <li>・給食費未納世帯に対し, 自宅訪問を行う等, 収納率アップにつながった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食を通じて食育の充実を更に目指していきたい。</li> </ul>																		
	<p><b>○学校給食費の第2子以降無償化</b></p> <p>①学校給食費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町に住所を有し, 18歳に達する以後の3月31日までの間にある対象児童生徒を2人以上扶養している保護者へ助成する。</li> </ul> <p>②助成実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H29</th> <th style="text-align: center;">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥屋小学校</td> <td style="text-align: center;">160人</td> <td style="text-align: center;">160人</td> </tr> <tr> <td>鹿島小学校</td> <td style="text-align: center;">242人</td> <td style="text-align: center;">237人</td> </tr> <tr> <td>鹿西小学校</td> <td style="text-align: center;">107人</td> <td style="text-align: center;">119人</td> </tr> <tr> <td>中能登中学校</td> <td style="text-align: center;">221人</td> <td style="text-align: center;">221人</td> </tr> <tr> <td>町外学校</td> <td style="text-align: center;">11人</td> <td style="text-align: center;">10人</td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	鳥屋小学校	160人	160人	鹿島小学校	242人	237人	鹿西小学校	107人	119人	中能登中学校	221人	221人	町外学校	11人	10人	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年から始まった, 第2子以降の児童生徒の給食費無償化により, 子育て世代への負担軽減に繋がった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食費助成制度の周知を図り, 対象児童生徒の保護者全員が申請するよう呼びかける。</li> </ul>
		H29	H30																	
鳥屋小学校	160人	160人																		
鹿島小学校	242人	237人																		
鹿西小学校	107人	119人																		
中能登中学校	221人	221人																		
町外学校	11人	10人																		
<p><b>○学校給食費の公会計への移行</b></p> <p>平成30年度から町予算に計上し, 管理・運用を行う公会計方式への移行のため, 学校給食費の徴収管理システムを導入した。</p> <p>学校給食費を町会計で受け入れるため, 口座の開設, 学校給食費を明記した町口座振替依頼書の印刷製本をし, 保護者への手続きを依頼した。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>学校給食費を町予算に組み入れ, 予算・決算・監査等, 町会計ルールに基づいた管理・運用ができるようになった。</p> <p>学校給食センターの取り扱い金融機関のみで行われていた納入が, 町指定金融機関・町指定取扱金融機関へ納入することになり, 保護者の利便性が向上した。</p> <p>学校給食費の未納状況による献立の調整や業者への支払い遅延の心配がなくなった。</p> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <p>徴収管理システムの導入等により, 平成30年度から公会計への移行が完了した。</p> <p>今後, 学校給食費の徴収管理及び食材費の支払い等の適正な運用を図っていく</p>																			

5 生涯学習の振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実	<p>○文化芸術活動を通じた交流, 発表の場とする</p> <p>①町文化まつりの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 30 年 11 月 2 日 (金) ~3 日 (土)</li> <li>・会 場 ラピア鹿島, カルチャーセンター飛翔</li> <li>・作品展示 37 団体, 600 人</li> <li>・入場者 約 4,000 人</li> <li>・芸能発表 37 団体, 268 人出演, 入場者約 500 人</li> <li>・お茶席 入場者 200 人</li> <li>・講演会 入場者 200 人</li> <li>・将棋大会 参加者 30 人 カルチャーセンター飛翔和室</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度も昨年並みの作品展示スペースを確保し, 多くの方に出展を依頼することができ, たくさんの方々に展示品をご覧になって頂いた。</li> <li>玄関には看板やチラシを置き来館者にわかりやすいよう努めた。</li> <li>また, 芸能発表も継続して行った。</li> <li>今回も開催日を 2 日間として充実あるまつりの内容とした関係もあり, 入場者数も大幅に増えた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に高齢化が進み, 脱退する団体も増え始めてきた関係から, 後継者の育成及び新規加入促進策を検討しなければならない。また, 各団体の事業内容の見直しも行うように指導していきたい。</li> </ul>
	<p>②文化推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕音楽会 約 100 名 平成 30 年 7 月 8 日 (日) ラピア鹿島</li> <li>・原爆展 約 447 名 (延べ人数) 平成 30 年 9 月 1 日 (土) ~17 日 (月) ふるさと創修館</li> <li>・自衛隊コンサート (航空自衛隊) 約 400 名 平成 30 年 9 月 9 日 (日) ラピア鹿島</li> <li>・文化推進特別事業 433 名 平成 30 年 11 月 10 日 (土) ラピア鹿島</li> <li>・クリスマスコンサート 約 50 名 平成 30 年 12 月 22 日 (土) ラピア鹿島</li> <li>・中能登ふれあいコンサート 2019 約 200 名 平成 31 年 2 月 10 日 (日) ラピア鹿島</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度は 6 事業を実施し, 約 1,630 名の方が来場した。今年度は, 1 事業が都合により中止となり参加者数が昨年度より減少した。</li> <li>・各種事業とも町民の融和が図られ, 円滑かつ効率的な事業・運営を行うことができ目的を達成した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施にあたっては, 実行委員会で内容を精査し, マネリ化にならないよう創意工夫を凝らし, 多くの町民が気軽に文化・芸術にふれあえる空間づくりに努めていきたい。</li> <li>・31 年度は, 参加者が多くご来場いただけるよう PR 等広く発信していきたい。また, 少しでも興味関心を持ってもらえるように努めたい。参加者の皆さんに文化・芸術の良さを今後も肌で感じてもらえるよう行っていきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実	<p><b>○生涯学習の拠点として施設の充実を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラピア鹿島の大規模工事を実施（3年目）</li> <li>① ミューズホール移動観覧席制御装置更新 工事費 6,998,400円 工期 7月5日～10月31日</li> <li>② 高圧受電設備改修 工事費 4,644,000円 工期 6月12日～8月30日</li> <li>③ 非常放送設備更新 工事費 4,965,840円 工期 6月27日～9月28日</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度は大規模工事の第3期として経年劣化が著しい設備系の更新を行った。利用者が快適に使用できる学習施設の充実が図られた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備系の更新、改修がほぼ終了。今後も適正な維持管理に努め、町民の文化芸術活動の拠点施設としての環境整備に努めていきたい。</li> </ul>
(2) 生涯学習講座の実施	<p><b>○住民のニーズを把握し、学習機会の場を提供する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習講座の実施</li> <li>1) わいわいフェスタ 1回 延べ35人</li> <li>2) 園芸講座 4回 延べ41人</li> <li>3) 健康づくり（夏季） 5回 延べ99人</li> <li>4) 健康づくり（冬季） 4回 延べ41人</li> <li>5) 季節の魚をさばこう 3回 延べ31人</li> <li>6) 手芸講座 4回 延べ81人</li> <li>7) パステルアート 2回 延べ4人</li> <li>8) 切り絵で蓬莱作り 1回 延べ21人</li> <li>9) 視力向上ヨガ 1回 延べ21人</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><b>○ふるさと学習の充実を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座の実施（6分類35講座を設定）</li> <li>1) 認知症シリーズ（長寿介護課）</li> <li>2) 高齢者の健康づくりシリーズ（保健環境課）</li> <li>3) 町の歴史を知ろう（教育文化課）</li> <li>4) 交通安全教室（総務課）</li> <li>5) 消費者トラブルの対処法（企画課）</li> <li>6) バイオマスメタン発酵施設の紹介（上下水道課）</li> <li>7) 夢いっぱいネバーランド（情報推進課）</li> <li>8) 生活習慣病予防シリーズ（保健環境課）</li> <li>9) みんなで介護予防（長寿介護課）</li> <li>10) 自分で守ろう！自分のからだ（保健環境課）</li> <li>11) 「消防・防災活動」（総務課）など</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度は、健康に関する講座を追加し、日常生活向けの講座に取り組んだ。9講座、延べ24回開催。延べ374人が参加。青年層・壮年層を対象としたが、青年層は子育て世代も多く、ターゲットとしては難しいことが分かった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が多い講座を厳選しながら、健康志向向け講座の充実させること。壮年層が継続して取り組みが実施できる日常生活に役立つ講座を取り入れる必要がある。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度は74回開催し、延べ1,774人が参加した。1回平均24名参加があった。年々利用団体が増えてきており、各種講座で大いに学ぶことができた。</li> <li>・町内会、女性会、学校など各種団体に幅広く利用された。特に各地区にある健康サロンの利用が半数以上を占めた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度は、住民の生活に影響のある新たな制度に関する講座に加え、健康増進を意識した講座づくりを目指すなど、住民のニーズに対応した講座項目の見直しを検討する。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 生涯学習のつどいの実施	<p>○講演、パネル展示、体験コーナーを行い、町民への周知を行うと同時に、お互いが学びあえる学習機会の提供を図る。社会教育委員が主体となり、企画及び運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生涯学習のつどい」の開催           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日 時 平成 31 年 2 月 16 日 (土)</li> <li>2) 場 所 ラピア鹿島「アイリスホール」</li> <li>3) テーマ 「いつまでも学ぶ姿勢をみんなして」</li> <li>4) 展示               <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登中学校の作品展示</li> <li>・社会教育団体の活動写真の展示 子ども会連絡協議会、青壮年協議会、女性協議会、実年会、文化協会、体育協会、スポーツ推進委員会</li> <li>・公民館活動【花いっぱい運動】写真展示</li> </ul> </li> <li>5) 体験コーナー               <ul style="list-style-type: none"> <li>・切り絵体験</li> <li>・勾玉づくり</li> <li>・カローリング</li> </ul> </li> <li>6) 基調講演               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆演 題 人生 100 年時代をどう生きる？</li> <li>◆講 師 杉村 太蔵 (タレント。元衆議院議員)</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul> <p>※開会前に夢プロジェクト「標語・川柳コンクール賞」表彰式を開催した。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度はテーマを「いつまでも学ぶ姿勢をみんなして」と設定し、社会教育団体の活動写真の展示、町内外の参加者に社会教育団体の活動を知ってもらうことができた。体験コーナーを設け、生涯学習について学ぶこともできた。</li> <li>・講演会はユーモアに問いかけながら、説得力もあり、参加者からは聞くだけでなく自ら考えさせられる講演であったなど、勉強は生涯であると認識させられたと好評であった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がマンネリ化しないように、基調講演等の企画・運営を図る。</li> <li>・今後も生涯学習に役立つ内容の基調講演会や自治公民館などの事例報告等も取り入れ実施していきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 公民館活動の充実	<p><b>○各自治公民館の活動を基盤とする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治公民館活動への助成 (59 地区)</li> </ul> <p><b>【活動内容】</b></p> <p>各種レクリエーション大会, 夏祭り, 盆踊り, 防災訓練, 納涼祭, 環境美化, 地区行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域自治公民館振興事業 (2 地区)</li> </ul> <p>①三世代交流納涼祭</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施日 平成 30 年 8 月 12 日 (日)</li> <li>2) 団体名 新庄区・廿九日区・在江区</li> <li>3) 参加者 500 名</li> <li>4) 内 容 旧町の区域を越えた隣接地区の住民が一堂に会し, 合同納涼祭を実施した。この事業により, 融和と親睦が図られた。</li> </ol> <p>②落語寄席</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施日 平成 30 年 12 月 2 日 (日)</li> <li>2) 団体名 黒氏区・一青区</li> <li>3) 参加者 75 名</li> <li>4) 内 容 伝統文化合同行事の参加率も減少してきた中, この事業により融和と親睦を深めることができた。</li> </ol>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民が連帯し自主的に事業を企画, 実施することにより, 自治意識の高揚を図り, 住民相互の連帯感を醸成し, 地域の活性化の促進を図ることができた。自治公民館が複数で事業を展開することにより, 各自治公民館の生涯学習全般にわたる活発な活動を促進し, 当該地域が本来持つ力を再生や地域の活性化と連携強化を図ることができた。2 地区で本年度も実施したが, それぞれに事業目的どおりの成果がでた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度においては, 広域自治公民館振興事業の継続的推進を図るとともに, 補助金の有効活用への助言等, 各自治公民館の自主的活動の充実を図る。</li> </ul>
	<p><b>○活動を通じさらなる連帯感を養い, 地域のリーダー育成を図る</b></p> <p>①花いっぱい運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春の花いっぱい運動</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施日 平成 30 年 5 月 27 日 (日)</li> <li>2) 植 栽 <ul style="list-style-type: none"> <li>サルビア 2,294 鉢</li> <li>マリーゴールド 2,304 鉢</li> <li>マツバボタン 2,264 鉢</li> <li>ベコニア 2,254 鉢</li> </ul> </li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の花いっぱい運動</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施日 平成 30 年 10 月 28 日 (日)</li> <li>2) 植 栽 <ul style="list-style-type: none"> <li>パンジー 2,096 鉢</li> <li>ビオラ 2,106 鉢</li> <li>チューリップ球根 (赤・白) 各 1,105 球</li> <li>(黄) 1,115 球</li> <li>(桃) 1,055 球</li> </ul> </li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇づくりパネル展示 (生涯学習のつどい)</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施日 平成 31 年 2 月 16 日 (土)</li> <li>2) 会 場 ラピア鹿島</li> </ol>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心豊かな生活環境づくりを推進する運動の一環として行っている町民手づくりによる「花いっぱい運動」だが, 平成 30 年度も実施し, 多くの地区で運動を展開した。町・地域全体の環境美化が図られた。</li> <li>・各地区で実施した花いっぱい運動の花壇づくりを撮影し, 生涯学習のつどいにて, パネル展示を行った。多くの町民に環境美化活動を知ってもらった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花いっぱい運動が定着してきているが, 更に町内一円の環境美化を推進するとともに, 地域が自主的に季節を問わず行う運動となるよう, これまで春・秋に町より配布を行っていた花苗, 種 (球根) については, 平成 31 年度より公民館活動事業の補助金対象とし, 自主的活動につながるよう地域で購入していただくこととする。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 公民館活動の充実	<p>②各種団体への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町文化協会</li> </ul> <p>会員相互の学術技芸の習得意欲の向上と、地域社会の文化向上に寄与する。</p> <p>1) 町補助金 2,750,000 円</p> <p>2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆年2回の文化だより発刊</li> <li>◆文化まつりの開催</li> <li>◆町事業への参加協賛</li> <li>◆県庁ロビーコンサートへの参加</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会活動では、それぞれの団体が、発表会やボランティア活動等に積極的に参加し、地域文化の向上が図られた。また、平成30年度も活動発表として文化まつりの会場で発表会を開催した。団体においては1年間の実績を発表し、町民は楽しいひと時を過ごせた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会の各種団体への加入状況が減少傾向にあるため、広報誌等を活用し入会案内を行い、加入促進を図っていく。平成31年度については益々の学術技芸を磨きあげていきたいと考えている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町子ども会連絡協議会</li> </ul> <p>1) 町補助金 800,000 円</p> <p>2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆全国子ども会安全会への加入</li> <li>◆各地区育成費の助成</li> <li>◆リーダー研修会</li> <li>◆秋・冬各種球技大会 (グラウンドゴルフ大会、ボウリング大会)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事において子ども達の交流を進めることができ、子ども達の自主性を育む活動ができた。各行事、保護者の協力もあり、運営等スムーズに行うことができ、事業計画どおり終えることができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も色々な行事を通し、子ども達が社会性や自律心を育めるよう、子ども達に活動の場を提供していきたいと考えている。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 公民館活動の充実	<p>・中能登町実年会 町実年層の親睦と融和を図りつつ、その教養を高めより良い町づくりの推進に寄与する。</p> <p>1) 町補助金 350,000円</p> <p>2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆町内美化活動の実施</li> <li>◆春・秋交通安全街頭指導</li> <li>◆「中能登町実年会だより」の発行</li> <li>◆バス視察研修（七尾市方面）</li> <li>◆県政出前講座の開催 （災害時のボランティア活動）</li> <li>◆グランドゴルフ大会</li> <li>◆町長と語る会</li> <li>◆ボウリング大会</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数の減少が続く中、継続し活動することにより参加者を集め、町実年層の親睦と融和を図ることができた。</li> <li>・実年会だよりの発行により町民にどのような活動をしているか周知することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度町実年会は鳥屋地区から3団体、鹿西地区から1団体の計4団体と会員数の減少が継続している。</li> </ul> <p>今後は、加入団体が減少しないよう継続するためには何をすべきか。また、実年会として町のために、どのような行動が必要なのか事業内容の見直しが必要である。</p>
	<p>・中能登町青壮年協議会 町内青壮年の親睦，交流を図り，青壮年層の活性化に資することを目的とする。</p> <p>1) 町補助金額 300,000円</p> <p>2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆春・秋交通安全街頭指導</li> <li>◆春・秋花いっぱい運動参加</li> <li>◆町民地区対抗ソフトボール大会</li> <li>◆町祭協賛事業（町祭，清掃ボランティア）</li> <li>◆なかのとハロウィン共催事業</li> <li>◆恋活事業（ハロウィン de 恋パ）</li> <li>◆やじきた祭り</li> <li>◆活動写真展示（生涯学習のつどい）</li> <li>◆町長と語る会</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の定住，出会いの場の創出，多くの人の交流を目的として様々な事業を行った。</li> <li>・6月に開催した町民地区対抗ソフトボール大会では15地区の参加があり，多くの若者の交流の場となった。</li> <li>・恋活事業では，ハロウィン事業の主催である町商工会青年部と共同で企画開催を行ったことで，新しい企画が取り入れられたことと，参加者の募集の範囲が広がり良かった。企画者側の親睦・交流にも繋がった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の総会案内時に未加入の地区にも総会案内を送付し，協議会の参加を募った。今後は，理事である各地区の代表も含め，役員会を開催し，事業の企画を進めていけるよう指導したい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(4) 公民館活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町女性協議会</li> <li>1) 町補助金 2,000,000 円</li> <li>2) 助成講座講師謝金一部助成 6,000 円 (各支部 1 回/年のみ助成) 30 年度実績 9 支部 平成 30 年度支部数 21 地区</li> <li>3) 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 会報 14 号発刊</li> <li>◆ 町長と語る会</li> <li>◆ 中能登地区県政会議</li> <li>◆ 議会傍聴</li> <li>◆ 議会と語る会</li> <li>◆ 交通安全マスコット配り</li> <li>◆ 女性のつどい</li> <li>◆ 敬老会お手伝い</li> <li>◆ 成人式お手伝い</li> <li>◆ リサイクルバザー</li> <li>◆ 交通安全パレード</li> <li>◆ 女性セミナー</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度においても支部数が減少しているが、協議会としての事業は充実しており、各種事業を通じて行政と連携した取り組みができた。また、いろいろな場面で協力体制がしっかりとしていることから、地域づくりやサポートに資することができた。</li> <li>・平成 30 年度も平成 29 年度に引き続き、「役員・支部長懇親会」を行った。合併後も旧町単位での交流が続いていたが、絆とつながりを深めるため、全体的な会とした。</li> <li>・行事等を通して町行政に対する課題や疑問を問いかけすることができ、さらに会員同士の絆を深めることができた。</li> <li>・会員数を増加させる対策の一つとして、女性の輪（会報）のレイアウトを大きく変更し、多くの方にみただけのような内容を工夫した。また、全戸配布を行った。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口、世帯の減少に伴い、協議会に参加する会員の減少が目立ち、解散する地区支部の問題が深刻化してきている。町協議会に加盟せずに地区独自で活動している団体もあるため、平成 31 年度においても継続して加盟を働きかけ、全地区の支部設立に力を入れたい。具体的な活動として、役員が区長会へ町女性協議会への加盟の依頼へ出向く予定。</li> <li>・女性の活躍は町活性化において欠かせないため、今後も支援を行ない支えて行かなければならない。</li> </ul>



項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 青少年の健全育成	<p><b>○家庭や学校、地域との連携を密にし、犯罪のない地域社会を創る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回補導の実施 前夜祭、町祭当日の巡回補導の実施。 期日 7月28日 時間 17:20～18:10, 20:55～21:40</li> <li>夏休み期間中の巡回補導の実施。 期日 8月7日,9日,21日,23日 時間 20:00～21:00</li> <li>・町駐在所,各学校代表,県警委嘱少年補導員,七尾鹿島地区高等学校PTA校外補導連絡協議会,青少年育成推進指導員,町教育委員会の協力のもと行った。</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度においても各種団体の協力を得て巡回補導を行った。結果的には補導対象となった青少年はいなかった。少年が深刻な状況に陥る前に犯罪の発生を抑止することは、地域社会の安全にもつながった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も子どもたちの健全な成長と非行防止を願い,関係機関の地域の学校及び補導員相互の連携強化を図っていききたい。最近では,パソコンや携帯電話の普及に伴い,サイバー空間における有害図書から青少年を守る取り組みについても検討していく必要がある。</li> </ul>
	<p><b>○青少年の地域での社会参加を促す</b></p> <p>①青少年育成推進委員の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府,県主催の研修会,ブロック会議への参加。</li> <li>・町立学校への協力。</li> <li>・町巡回補導への協力。</li> </ul> <p>②成人式の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成31年1月13日(日)10:30～</li> <li>・場 所 ラピア鹿島「アイリスホール」</li> <li>・参加者 対象者181人,参加者151人</li> <li>・式 典 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)開式の辞 副町長</li> <li>2)国家斉唱(ピアノ伴奏) 新成人代表</li> <li>3)町民憲章唱和 新成人代表</li> <li>4)式辞 町長</li> <li>5)祝辞 知事(代読・教育長),衆議院議員,県議会議員,町議会議長</li> <li>6)記念品贈呈受領 新成人代表</li> <li>7)二十歳の誓い 新成人代表</li> <li>8)謝辞 新成人代表</li> <li>9)閉式の辞 副町長</li> </ul> </li> <li>・記念撮影(各地区)</li> <li>・実行委員会主催親睦会の開催</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成推進指導員が研修会の参加や七尾鹿島ブロック会議の参加や推進指導員の資質向上を図ることができた。ブロック会議では,事例発表や講話を聞き,活動の参考とした。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会やブロック会議に一堂に会し,相互の意見,情報等の交換など行い他市町との連携を強化していきたい。</li> </ul> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年々,保護者の参加が増えてきていることから,保護者席を十分に確保したことで,スムーズに式典を開始することが出来た。</li> <li>・女性協議会や着付けボランティアの協力により全日程を円滑に進行することができた。</li> <li>・成人式実行委員会主催の親睦会は会費制で行い,成人者には良い思い出と社会構成員としての自覚を促すことができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人18歳に伴う今後の式典内容・時期について検討する。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 国際交流事業の推進	<p><b>○国際化に対応した事業推進を台湾基隆市成功国民中学校との相互交流を通し展開する</b></p> <p>中能登中学校の生徒 19 名，引率者 6 名（中能登中学校校長，中能登町国際交流の会会長他）が台湾基隆市成功国民中学校等を訪問し，またホームステイを通じて相互交流を行った。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾基隆市成功国民中学校との交流事業をとおして国際化に対応できる人づくりを行った。</li> <li>・海外でのホームステイを通して，異文化体験，多文化交流を行った。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたち同士やホストファミリーとの交流を通して，国際感覚を養うため，今後も更に交流を深めていきたい。</li> </ul>
	<p><b>○次世代を担う児童生徒の国際的視野を身につけるための国際交流を推進する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャパンテントへの共催並びに実施</li> <li>1) 期日 平成 30 年 8 月 23 日（木）～26 日（日）</li> <li>2) 受入 留学生 7 名</li> <li>3) ホストファミリー 6 ファミリー</li> <li>4) 中能登町交流プログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>◆竹取り，竹細工作成，昼食（流しそうめん等）</li> <li>◆デザインセンター，能登上布会館（見学・体験）</li> <li>◆亀井ちょうちん店（見学・体験）</li> <li>◆書道体験</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町プログラムに，ホストファミリーにも参加してもらい，交流を深めた。</li> <li>・ホストファミリーの方達に留学生との交流をとおして，異文化に触れ，お互いに学び合う良い機会を提供できた。</li> <li>・中能登町の産業である繊維産業の関連し，デザインセンターの見学や能登上布の機織り体験を通して留学生たちに町の魅力をつたえることができた。</li> <li>・書道体験は，ホストファミリーへのプレゼントを作って，双方喜んでいた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流プログラムを継続していきたい。様々な団体との連携を検討していきたい。</li> </ul>